

やまきたまち 議会 だより

議会の^oおと

P4~7 …ここが聞きたい？決算審査
P10~16 …7名の議員が町政を問う
P17~18 …町民からの声



議会ホームページは
こちらから

ズバッと一本!! 背負い投げ
山北柔道クラブ (関連記事は裏表紙に)

9月定例会(9月5日~14日)

補正予算 6億8865万円を追加

歳入歳出 総額63億236万円

注目事業!!

事業	内容	金額
災害復旧費	(農林、公共土木)小災害復旧工事	1500万円
観光振興事業	洒水の滝周辺整備工事、観光協会助成金他	1105万円
体育施設整備事業	旧山北体育館代替体育施設基本設計業務委託料	479万円
認定こども園運営事業、維持管理事業	ネットワーク環境整備工事、認定こども園維持管理工事他	326万円

こじがポイント

- ・洒水の滝整備はどうなるの？
- ・旧山北体育館代替体育施設 動き出す！

洒水の滝整備はどうなるの？

一部土砂流出箇所があるが、県が復旧するのか。

また、舗装工事予算があるが、駐車場全面舗装するのか。

商工観光課 土砂流出は県が対応している。

舗装については、駐車場部分は水はけを考慮し、入口の傾斜部のみ舗装する。

代替体育施設の

基本設計業務委託

旧山北体育館代替体育施設について、かながわ木造・木育アドバイザー事業を活用し、事業を推進することになった。

県産木材を50%以上使用した基本設計の委託に至った理由は。

また、検討委員会であがった意見は反映されるのか。

生涯学習課長 ①世界情勢

の好転が見通せない状況であるが、先送りしない方がよいと判断した。

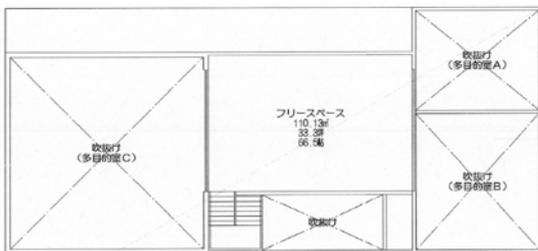
②町産木材も含めた県産木材を50%以上使用で50%補助金が活用できるため、チャレンジすることとした。検討委員会の意見は尊重して進めていく。

専決処分

被災地応援

8月3日から4日にかけて災害時相互応援協定を結ぶ新潟県村上市が大雨により被災した。町では専決処分で応援活動を行った。議会は専決処分を承認し、支援活動を応援した。

2階平面図



1階平面図



代替体育施設イメージ (平面図)

7月臨時会(7月29日)

プレミアム付商品券増冊のため

商品券特別会計 歳入歳出 **4936万円**を追加



好評につき

プレミアム付商品券追加発行

好評につき、追加発行するということだが、予算を組む段階で積算が甘いのではないか。

商工観光課 予算の見通しが甘いという指摘は甘んじて受けるが、ウクライナ情勢、物価上昇等が町民の生活を圧迫しており、町民の生活を守るため増冊が必要であると判断した。

このプレミアム付商品券は生活が苦しい人たちにとってはなかなか手を出しにくいのではないか。

商工観光課 福祉課が担当する非課税世帯経済支援商品券で対応する。

福祉課 生活困窮世帯に対する施策として4月議会で予算を計上した。

令和3年度の国の非課税世帯向け給付金対象者への配布は、追加分に増冊が含まれている。

増冊分について改めて販売することはあるのか。

商工観光課 追加販売でなく、申し込み状況を踏まえたものの最大の数値となっている。

今回、追加発行となった要因として、町民だけでなく在勤者も含まれている。在勤者の内訳は。

商工観光課 町内の申し込み率が94%、町外が6%であり、申し込み件数、申し込み冊数ともに町内の方の申し込みが多い状況となっている。



常任委員会委員の補充選任

総務環境常任委員会

大野 徹也 氏

福祉教育常任委員会

藤原 浩氏

広報広聴委員会委員の補充選任

広報広聴委員会

(広報分科会)

藤原 浩氏
大野 徹也 氏

ここが聞きたい?



決算審査

1日目

令和3年度 一般会計・特別会計・水道事業会計
101億3241万円

令和3年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計について、9月9日、12日の決算特別委員会（石田照子委員長）で審議した。主な質疑は以下の通り。



石田照子決算特別委員会委員長

千ヘツク

健全財政への取り組みは

令和3年度決算の町長としての評価は。

町長 人口減少により税収は落ち込んだが、ふるさと応援寄附金等の充実でカバーし、身の丈に合った運営を心がけた。

滞納繰越分の収入金額が増えている要因は。県職員の指導で収納率アップにつながったのか。

町民税務課長 令和2年度の徴収猶予分が順調に納付されたことが要因である。また、県の短期派遣職員による一斉調査が納税につながった。

前年度と比べ、人件費が増えている。

ラスパイレス指数（※）が高いが、どのように考えているのか。

企画総務課長 給与が高いわけではない。

中堅職員が少なく、国より低い年齢で中堅職員として働いてもらっていること、課長や主幹クラスに高卒の割合が一定数いることが要因である。

（※）ラスパイレス指数とは 国の職員の給与を100とした時の山北町職員の給与の割合を示す。令和3年度の報告では102.8



「たのしいよ〜」育メンパパと一緒に♡

男性も子育てを楽しんで

男性職員の育休参加が進んでいない。元氣な町づくりは職員からである。産休を取得しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思います。

企画総務課長 課の中で、育休職員の仕事を分担し、長期の場合は会計年度任用職員を任用するなど工夫し、多くの職員に育休を取得してほしいと考えている。

中川温泉ぶなの湯の
収益の一部が町に戻さ
れた理由は。

うれしい悲鳴 ぶなの湯人気で収益増



商工観光課長 コロナの関
係で、都市部から多くの観
光客に訪れていたのだが結
果、収益が上がった。
増収分は税務署との協議
で、町に戻した。

将来を見据えた公共交通を

令和3、4年度、三保・
清水地区で試行運行中
のデマンドタクシーは、
現状のみで結論を出さ
ず、将来を見据えた判
断をするべきでは。



通院・買い物などの手助けにデマンドタクシー

町長 現在の試行運行の結
果のみでは判断しない。
将来的にその地域にどの
ような手法があっているか
検討していく。

どうする 獣害対策

人家の近くでは、銃
が使用できないため、ワ
ナを仕掛けるが、ワ
ナなどの消耗品等には
町の助成が使えないが、
検討するべきでは。



人家の近くに仕掛けられたワナ

農林課長 ワナを仕掛けた
時の日々の見回りや、消耗
品等には助成がない。
関係者と協議し、検討し
ていきたい。

アレルギー対策 大丈夫か

防災備蓄品はアレルギー
対応品か。

地域防災課長 アレルギー
特定原材料等を使用してい
ないレトルト食品やライス
クッキーなどを購入・備蓄
している。



被災時に活用される防災備蓄品

2日目

町の負担 大きくないか

健康福祉センターの
管理費が、収入に対し
て大きすぎる。
町の負担が大きすぎ
ることは良くない。対
応を考えるべきでは。

保険健康課長 さくらの湯
の利用者は、令和2年度は
コロナの影響を受け減少し
たが、令和3年度夏の入場
者数は前年同月の150%
増となった。

収入以上に維持管理費が
増えると、町の負担が大き
くなるため、令和5年度
は、利用料の改定を考えて
いる。

ソーラーパネル で収益を

サンライズやまきた
は、ソーラーパネルを
設置して売電している。
他の公共施設でも検
討するべきでは。

定住対策課長 サンライズ
山北は、PFI事業の中で
家賃等の負担軽減のために
設置した。

今後、施設を建設する際
には検討が必要と考える。



ソーラーパネルが設置されているサンライズ山北

便利になったか 東山北駅前ロータリー

東山北駅前を整備し
たが、利用状況や効果
はどうか。
また、地域の声を反
映させるなど利便性は
向上したのか。



便利になった東山北駅前ロータリー

定住対策課長 整備後は県
道への駐車が1〜2台と減
少し、効果は出ている。
また、地域の声を受け、
循環バスの停留所を設ける
と共に、公衆電話やポスト
も設置し、利便性の向上に
努めた。

必要とする方に 生活必需品の支援を

物の値段が上がって
いるので生活に困って
いる方が、気兼ねなく
支援が受けられるよう
工夫するべきでは。

福祉課長 NPO法人報徳
食品支援センターから食料
品の提供を受け、米などは
町で購入し、必要な方に提
供している。
生理用品などもあるた
め、周知の方法を検討する
など、受け取りやすい方法
を工夫する。

十分なサービスは行われたか

障がい者支援費用が
1500万円残ってい
る。十分なサービスが
行われたのか。

福祉課長 主な要因は、重
度障害者医療費と自立支援
給付費の残である。
コロナ禍で、月ごとの利
用者数やサービス内容が異
なり、見込みを立てること
は難しい。
しかし必要なサービスは
提供できている。

子どもの安全は 守られているか

認定こども園ではどのような保守点検を行ったのか。
また、子どもの安心・安全確保にはどのような対応をしているのか。

こども教育課長 委託により、給食設備・消防設備・遊具の点検を行った。
子どもの安全を守るためには、急な破損などには速やかに対応していく。

町民の健康は大丈夫か

健康相談と訪問指導の件数が減少している。
健康相談はとても大切な事業であり、保健師の不足が影響しているのでは。

保険健康課長 コロナの影響で、事業や訪問指導を控えたことが要因である。
保健師や保育士は増やしたいと考え、通年で募集をかけている。

全国1位に輝く

昨年度から始まった電子図書館の利用状況と、成果は。

生涯学習課長 登録者数は、現在1585名であり、小中学校での朝読書で活用している。職員が学校を訪問し、登録後の操作を指導するなど学校と連携を図った結果、令和4年4月に、利用者数が全国で1位となった。



好評のデジタル図書（生涯学習センター）

園児の様子を動画配信

幼稚園園内通信ネットワーク環境整備工事は、どのような整備を行ったのか。
また、WiFi導入の理由は。

こども教育課長 各保育室、多目的室へのアクセスポイントの設置と、それに伴う配線工事を行った。
コロナの蔓延により、保護者の参加が制限されたため、保護者限定で、園児の様子を動画で見られるようにした。

特別会計 企業会計移行に向けて

下水道事業特別会計は、令和6年度から企業会計に移行する。
移行後は、一般会計からの基準外繰り入れが縮減されるが、どのように取り組んでいくのか。

上下水道課長 下水道運営審議会から料金改定が必要と答申をいただいている。
一度には実施できないので徐々に実施していきたいと考えている。

特別会計 大丈夫か国民健康保険

国保会計は、一般会計から7100万円の繰り入れをし、借り入れを返済したが、今後の財政見通しはどうか。

保険健康課長 非常に厳しい状況は脱したが、好転したわけではない。
今後、県では国保税の統一化を予定しているが、様々なシミュレーションをし、被保険者の負担が最小限となるように、また、円滑に移行できるよう進めたい。

議の結果

第4回 臨時会 (7月29日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和4年度一般会計補正予算(第3号) ・プレミアム付商品券の追加発行に要する事業の増額で、歳入歳出それぞれ1794万円を増額し、予算の総額を56億1371万円とする	可決	常任委員会委員の補充選任 ・常任委員会委員の欠員に伴い補充するもの	補充選任
令和4年度商品券特別会計補正予算(第2号) ・プレミアム付商品券を追加発行するため、歳入歳出それぞれ4936万円を増額し、予算の総額を2億4904万円とする	可決	広報広聴委員会委員の補充選任 ・広報広聴委員会広報分科会委員の欠員に伴い補充するもの	補充選任

第3回 定例会 (9月5日～14日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和3年度一般会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額は68億1386万円、歳出決算額は64億6257万円となり、翌年度へ繰越すべき財源を含め、歳入歳出差引3億5129万円の剰余金が生じた	認定 (賛成多数)	令和3年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額12億9835万円、歳出決算額12億5869万円で、歳入歳出差引3966万円の剰余金が生じた	認定
令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額13億9002万円、歳出決算額13億8720万円で歳入歳出差引282万円の剰余金が生じた	認定	令和3年度商品券特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額1億5077万円、歳出決算額1億4835万円で、歳入歳出差引242万円の剰余金が生じた	認定 (賛成多数)
令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額1億9525万円、歳出決算額1億9291万円で歳入歳出差引235万円の剰余金を生じた	認定	令和3年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定 ・収益的収益は総額1億9140万円、支出総額は1億7706万円で、損益計算は1434万円の純利益が生じた。資本的収入は761万円、支出総額は6303万円で、5542万円の不足が生じ、当年度分消費税及び地方消費税の資本的収支調整額等で補てんした	可決・認定
令和3年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額3億9650万円、歳出決算額3億7707万円で、歳入歳出差引1943万円の剰余金が生じた	認定	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 ・国家公務員の育児休業等に係る規定の改正に伴い、地方公務員においても同様の措置をとる必要があるため、改正するもの	可決
令和3年度町設置型浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額2878万円、歳出決算額1299万円で、歳入歳出差引1579万円の剰余金が生じた	認定	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・町空家等対策協議会委員の報酬額を規定するため、改正するもの	可決
令和3年度山北財産区特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額431万円、歳出決算額345万円で、歳入歳出差引86万円の剰余金が生じた	認定	令和4年度一般会計補正予算(第5号) ・歳入の主なものは、普通交付税の確定による地方交付税の増額であり、歳出の主なものは、自治会要望等に対応するための経費の増額で、歳入歳出それぞれ6億8865万円を増額し、予算の総額を63億236万円とする	可決
令和3年度共和財産区特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額3394万円、歳出決算額2961万円で、歳入歳出差引433万円の剰余金が生じた	認定	令和4年度国民健康保険事業特別会計予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ232万円を増額し、予算の総額を14億3003万円とする	可決
令和3年度三保財産区特別会計歳入歳出決算認定 ・歳入決算額786万円、歳出決算額650万円で歳入歳出差引136万円の剰余金が生じた	認定	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ239万円を増額し、予算の総額を2億623万円とする	可決

議案等審

件名	審議結果	件名	審議結果
令和4年度下水道事業特別会計補正予算(第1号) ・歳入の主なものは、前年度繰越金の確定であり、歳出の主なものは、下水道整備工事の増額で、歳入歳出2263万円を増額し、予算の総額を4億2192万円とする	可決	令和4年度商品券特別会計補正予算(第1号) ・前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ52万円を増額し、予算の総額を2億4956万円とする	可決
令和4年度町設置型浄化槽事業特別会計補正予算(第1号) ・前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ360万円を増額し、予算の総額を4814万円とする	可決	教育委員会教育長の任命 ・教育長の任期満了に伴い、任命するもの「石田浩二」氏	同意
令和4年度山北財産区特別会計補正予算(第1号) ・前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ40万円を増額し、予算の総額を680万円とする	可決	人権擁護委員の推薦 ・町人権擁護委員を推薦するもの「池田隆之」氏、「工藤茂男」氏	同意
令和4年度共和財産区特別会計補正予算(第1号) ・歳入の主なものは、新東名高速道路本線用地の売払いによる財産収入の増額であり、歳出については、基金積立金の増額で、歳入歳出それぞれ146万円を増額し、予算の総額を7990万円とする	可決	専決処分の承認(令和4年度一般会計補正予算(4号)) ・8月3日の大雨により被災した新潟県村上市に対して、災害時における相互応援に関する協定に基づく応援を行うため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したもの	承認
令和4年度三保財産区特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ61万円を増額し、予算の総額を645万円とする	可決	令和3年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告 ・健全化判断比率及び資金不足比率を報告するもの	報告のみ
令和4年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ・主に前年度繰越金の確定であり、歳入歳出それぞれ5499万円を増額し、予算の総額を13億4376万円とする	可決		

☆賛成・反対があった議案(第3回定例会)

議案件名	議員名(議席順)	瀬戸恵津子	藤原浩	和田成功	熊澤友子	鈴木登志子	瀬戸顯弘	瀬戸伸二	清水明	大野徹也	遠藤和秀	堀口恵一	富田陽子	石田照子
令和3年度一般会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
令和3年度商品券特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対を表しています。児玉洋一議長は、採決に加わりません。

賛成 **令和3年度一般会計歳入歳出決算認定：賛成反対** **反対**

<p>健全な財政運営を評価 決算は、1年間の予算が町民のために使われているかを問うものである。実質公債費比率は前年度より0.9ポイント上がっているが、経常収支比率は87.9%で前年度と同じであり実質収支比率は改善しており、健全な財政運営がなされ3億5129万円の余剰金を生み出すことができた。歳入は町税が減少する中、交付税やふるさと応援寄附金を活用し、歳出は子育て支援電子図書館の運営、高齢者や障がい者の外支援助事業、商工振興事業として中小企業・小規模事業者等持続化助成金事業、新型コロナウイルス感染者への食料品等配送支援サービス事業、プレミアム付商品券の発行により町民が地元での買い物促進し、事業者は活性化への支援となった。さらに、その他の事業も適切に実施されたことを評価し、原案に賛成の討論とする。</p>	<p>清水明 予算執行の厳格化 一般財源から商品券特別会計への繰り出しについて疑義があるため反対の立場で討論する。 町民の追加発行の要望を受けてプレミアム付商品券を追加発行したことにつき、議会の承認を受けて予算執行することは必須であるにも関わらず、町民の要望を叶えるためとはいえ、大切な予算を「使ってしまったから理解してくれ」ということは行政と議会の望ましい関係を壊すものであり、議会軽視でもある。 プレミアム付商品券は生活困難家庭にとつて手のとどきにくいものであり、すべての町民に等しく恩恵が行き届かないものであることから議会での討議が必要のものであった。以上のことから反対する。</p>
--	---

問 災害に強いまちづくりを

答 災害に強いまちづくりを推進していく



和田 成功 議員



災害大国、日本。毎年、台風・豪雨・地震などの自然災害が発生している。私たちの生命や財産を守るため、各自治体は様々な準備をして発災時の対応に備えているが、有事の際には想定外のことが発生したり、情報が錯さうしたりするなど、多くの困難があることは容易に想像がつく。そこで質問する。

問 災害発生直後の初動対応の課題をどのように捉え、体制整備に取り組んでいるのか。

答 防災訓練・地域防災計画改定の検討を通じて体制整備を進めていく。

問 災害時の受援体制（※）整備も重要である。受援体制は構築されているのか。

答 地域防災計画には具体的な要領は記載されていない。令和4年度の地域防災計画改定に合わせ、受け入れ施設や受け入れ体制について検討していく。

（※）受援体制とは
外部からの物的人的支援を円滑に受け入れるための体制



総合防災訓練（生涯学習センター）

問 要配慮者への取り組み状況は。また、妊産婦・乳幼児などへも取り組む必要があるのでは。

答 災害の初動時に限られた人材と社会資源を真に必要とする方への避難支援に活かすためには、要配慮者の避難支援の優先度の振り分けを検討する必要がある。

また、妊産婦や乳幼児などについては、他自治体の事例を調査研究し、対象者への位置づけを検討していく。

問 自助・共助・公助への取り組みは。

答 令和4年4月に策定した国土強靱化地域計画で、「町民1人ひとりが『自らの身は、自ら守る。皆の町は、皆で守る』という自助・共助の考えを実現するため、防災意識の啓発・向上を図る防災広報に努める」としている。

災害時要援護者避難支援制度による名簿登録者数541名

（令和4年7月現在）

問 町の新たな玄関口、受け入れ態勢は万全か
答 山北町の魅力を情報発信する



瀬戸 伸二 議員

町長の所信表明にもある「(仮称)山北スマートICを最大限に生かした政策」は期待するところではあるが、IC開通に向けて受け入れ態勢は万全なのか危惧するところでもある。
 そこで、早急な対応が必要と考
 え質問する。

問 「道の駅山北・オアシス公園・河内川ふれあいビレッジの3施設について、担うべき役割を絞り込み、反映させ3施設の魅力を高める」とある。具体的な取り組みは。

答 既存3施設を再整備し、一体的に活用することで、スマートIC周辺地域の魅力を高め、地域振興につなげていきたい。
 県・NEXCO中日本・町で「スマートIC開通に伴う山北町地域振興プロジェクト会議」を立ち上げた。具体的な方策について「施設整備部会」「観光情報部会」の2部会を設置し、検討していくこととなっている。

問 「スマートICを拠点とした広域幹線道路の整備促進」の中に「県道山北藤野線は、町域を超える整備がされていない」とある。全線開通に向けた取り組みは。

答 丹沢湖周辺から東、西、北の3方向の中で、幹線道路の必要性や効果・課題など整理し、優先的に検討を進めるルートを今後決定するが、現時点でルートは決定していない。



道の駅周辺の風景



旧丹沢湖ビジターセンター

問 「丹沢森林館・葉草園・旧丹沢湖ビジターセンター・玄倉ふれあいランドについて、町として利活用の方向性を改めて整理する」とある。
 現状と今後の見通しは。

答 公共施設の総数の適正化や施設同士の総合的な活用方法、また民間活力の導入を視野に入れたら検討を重ね、利活用の促進を図りたい。

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 町長戦略室を設置し新たな行政運営を

答 課題の解決に向け組織体制を整備した



瀬戸 恵津子 議員

町長は4期目の町政運営にあたり令和4年7月29日の臨時会において所信表明をされた。その中で「山北町第6次総合計画」を策定すると言われた。

また、山北駅前周辺地域の活性化の施策の中で、駅舎の活用についても言及しているため内容を確認する。

そして、新たな将来像を描くにあたり町長戦略室を設置するなど、柔軟な取り組みが必要と考え質問する。

問 「山北町第5次総合計画」の検証スケジュールは。

答 令和4・5年度に第6次総合計画を策定するが、その中で第5次総合計画の検証もしていく。

問 山北駅舎の利活用については、新たな計画があるのか。

答 切符販売事業については、継続して実施する。駅舎の利活用について現在、民間事業者からの問い合わせ等はない。使用する場合、賃借料等の課題があるが、JR東海とあらゆる機会をとらえて、協議する。

問 町長戦略室を設置し柔軟に行動される考えは。

答 新たに町長戦略室の設置は考えていないが、必要があれば外部人材を招くことについては考えている。

令和4年4月の役場組織の見直しにより、企画総務課では事務分掌をスリム化し、重点課題に取り組みやすい組織体制を整備した。

企画総務課では、山北町第6次総合計画の策定、(仮称)山北スマートIC周辺土地利用構想の事業化、デマンドタクシー試行運行、県域を越える広域幹線道路の整備促進等に取り組んでいる。



役場支所と一体化した駅舎

問 デジタルデバインドへの十分な取り組みを 答 町も取り組む必要があると考える



堀口 恵一 議員

政府は令和4年6月1日、地域活性化策「デジタル田園都市国家構想」の中で令和9年度末までに高速インターネット光回線をほぼ全世帯へ普及させ、「全国どこでも快適に暮らせる社会」を目指すとした。

行政とのコンタクトやオンライン診療、介護見守りシステムなど、多種多様なサービスが進んでいるにも関わらず利用できないままの人がいる。また、オンライン環境格差は教育格差にも直結する。

デジタルデバインド(※)は、町のサービス提供の観点からも、取り組みが必要と思ひ質問する。



現在進んでいる等身大オンライン環境イメージ



VRゴーグルを利用した教育イメージ

問 各家庭のオンライン環境について、モデルケースの提示などが必要と考えるがどうか。

答 オンライン環境による教育格差が生じる恐れがある場合は、補助制度を含め検討している。

問 オンラインスーパード、オンライン診療、タクシードアプリ利用、その他多くのサービス活用で交通問題も改善すると思うがどうか。

答 デジタルデバインド問題は、行政においても取り組んでいく必要があると考えており、特に高齢者の方々に対して必要と考えているが、デジタルで本町の生活交通の課題を改善できるとは考えていない。

問 LINE利用者が多くなった今、町公式LINEアカウントを設け、通報などに活用すべきではないか。

答 現在、「直接電話」、「メール」、「町ホームページのお問い合わせフォーム」を活用しており、早急に設ける必要はないと考えている。

問 他市町でも設置が進んでいるDX推進課(※)が必要と考えるがどうか。

答 DX推進についての検討は必要だが、課の新設までは必要ないと考えている。

(※) デジタルデバインドとは、インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用して、それらの恩恵を得られる人と、うまく利用できないために恩恵が得られない人との間に生じる格差という意味

(※) DXは「デジタルトランスフォーメーション」の略で、デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指す

LINE 公式アカウントの機能特徴と利用イメージ



チャット

- ・ユーザーからの問い合わせに対して、LINEのトークと同じように直接コミュニケーションができます。自動応答の設定も可能です。
- ・別の地図アプリで現在位置を表示させ、スクリーンショットを送信することも可能です。
- ・現地の写真と位置情報が簡単に送れ、伝達が短時間で出来ます。



メッセージ配信

- ・友だち追加したユーザーにメッセージを送ることが出来ます。(通報情報、対応状況などを発信すれば、利用者の注意を促すことになり、役に立つ)

問 やまきたまち鉄道レガシーの
更なる活用推進で町の活性化を
答 基本的には提案に賛同したい



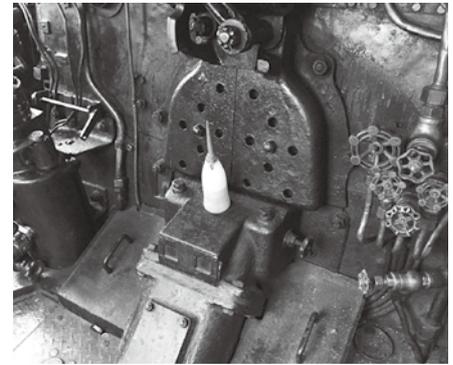
藤原 浩 議員



日本で1台♡走るD52

町所有の機関車は、D52としては日本で唯一動く機関車である。また、明治22年東海道線開通と同時に開業した山北駅は、基地として栄えた当時の繁栄を伺える痕跡が、鉄道レガシー（※）として、多数存在している。

町長の施策に鑑み、以下の質問を行う。

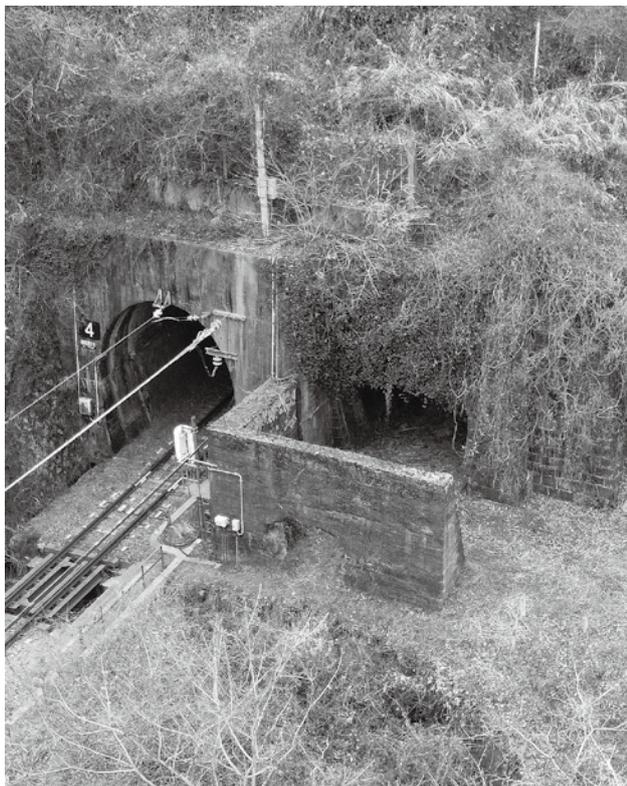


D52運転室の様子

問 D52活用の乗車体験や運転体験実施を検討しているが、軌道敷延伸にあわせ、新たに町内在住者は無償、町外参加者は有償で公募し、D52運転手の人材育成に努めたらどうか。

答 基本的には提案に賛成したいが、運転手としての誇りや愛着を持ち、長い間従事していただける方に応募いただきたいと考えている。

（※）鉄道レガシーとは
鉄道遺産を意味する言葉で、「世代から世代へ受け継ぐもの」を意味する



終戦を告げた鉄道レガシー 第5号隧道

問 町には、貴重な鉄道レガシーが多数存在している。2018年まで開催していた「鉄道遺産巡りツアー」を町単独、もしくは民間団体と連携し、再開してはどうか。

答 JR東海との対応を含め、検討を重ね対応していきたいと考えている。

問 町内には、昭和20年海外向けの終戦玉音放送を行った箱根第5号トンネル等、貴重なレガシーがある。改訂が予定される資料では、鉄道レガシーについて伝えるべきと考えるがどうか。

答 5・6年生資料では、歴史の項目の「鉄道」、「関東大震災」、「戦争に関する事」で取り上げており、今後も「郷土愛の育成」を推進していく。

問 地域の文化財の継承、存続を問う

答 文化財を守っていく



清水 明 議員

山北町は「観光立町」である。「河村城址」、「河村新城」、「室生神社の流鏑馬」、「お峯入り」等がある。自然的資源としては「洒水の滝」、「丹沢湖」、「ユーシンブルー」等名だたるものがある。

また、文化財とは認められてはいるがそれがそれに相当する歴史的な文化財が地域にはある。今それらものが継承、存続をめぐって危機的状況にある。

そこで問う。

問 山北地区の道祖神祭は、多くの観光客を呼んでおり、町の年中行事として定着している。

ところが、少子高齢化等のため年々その運営が厳しくなっている。そこで、町の観光資源、及び町の文化財として保護、継承する考えはないか。

答 山北地区の道祖神祭のみを町の文化財に指定することは難しいと考えるが、地域の歴史や文化を守り、後世に伝えていくことは重要であると考えている。

そこで、地域行事に活用する「生涯学習活動助成金」を継続するなど、町としてできる支援を行っていく。

また、必要に応じ増額も考えていく。



どんど焼きは地域のコミュニケーションの場

問 室生神社祭の町内巡行は神社と連合自治会がその運営を行っているが、先の見通しが厳しい状況にある。

この町内巡行を室生神社の神事と切り離し、町の文化財として保護、継承していく考えはないか。

答 文化財は指定の有無にかかわらず、所有者や団体が保護・継承していくものであり、その中で地域として、そして町として何が支援できるか検討し、持続可能な伝統行事の実現をめざしていくことが大切であると考えている。



華やかな道祖神祭の花車の巡行

問 中長期的な町のビジョンは

答 選んで住んでもらえる町にしたい



富田 陽子 議員

先日、町長から所信表明がされました。移住や定住、子育て支援等様々な取り組みに注力しているが、全国的にも人口減少は避けられない課題である。増やす取り組みだけでなく、将来的に少ない人口でどのような町として取り組んでいくかが重要であると考える。そこで問う。

問 自治会長初め、各種委員のなり手不足が深刻である。具体的な対策は。

答 審議会・委員会等の定数の見直しや、自治会との連携を強化するため「地域防災課」を設置し、連合自治会と意見交換を開始している。

問 慣例的な連合自治会長の町行事への出席を減らし負担を軽減しては。

答 あて職の多さも含めて様々な工夫を凝らしていきたい。

問 町有財産の補修更新等維持管理費は今後ますます増加すると予想される。

答 少ない人口で維持管理していくには、取捨選択や、効率化を図る必要がある。利活用の展望は。

答 予防修繕を基本に建物自体の長寿命化を図ることを基本的な考えにしており、基金を積み上げている。



旧清水保育園 現在新東名の業者に貸しているが、完成後は？



旧清水小中学校 1教室ずつ貸し出すなどして起業を応援しては

問 利活用を検討中の町有財産をオープンにし、広く公募しては。

答 基本的にはできると思う。一番面積の多い町有財産は山林である。様々なアイデアを期待したい。

問 ふるさと納税とクラウドファンディングを組み合わせて、活用したい事業者や活用プランを住民が選んだり応援できる方法もあるのでは。

答 ふるさと納税もどんどん進化している。研究して検討したい。

問 将来的にどのような町にしていきたいのか。

答 「山北町がいい」と選んで住んでもらえるような町にしていきたい。

No.210議会のおと 広報モニターアンケート

12名の議会広報モニターの皆様から、前号に関するアンケートに回答していただきました。紙面の関係上一部を紹介いたします。なお、ホームページでは全部を掲載していますのでご覧ください。

内部紙面について

- ◆ 審議結果で字数が増え、読みにくくなるのを、分かりやすく要約して、読みやすくしている。
- ◆ さらに詳しく知りたいと思う記事があった。
- ◆ 専門的な用語が分からない。また理解しにくい表現があった。

“みんなの声で 議会のおとが もっと良くなる”

多様な声がつくる議会だより

モニターの方の声を聴き、住民が何に興味があるのか、何を求めているのか、議会だよりに活かし、より住みよい町にしていきたいと考えています。

表紙・裏表紙

- ◆ 表紙が良ければ、中をのぞいてみようという興味湧く。
- ◆ もくじのタイトルは、記事の内容と違うように感じた。
- ◆ HPPのQRコードがあり、情報アクセスしやすい紙面づくりがよい。
- ◆ 傍聴を呼びかけるのに動画配信することを載せておくと良い。



※全集計結果はホームページに掲載しています。



一般質問について

- ◆ 新たに知ることや、考えさせられることがある。
- ◆ 一般質問後の進捗が見えない。質問後の状況を知る機会はあるのか。質問だけで終わっている気がする。
- ◆ 分かりにくい文章があった。
- ◆ 質問に対し、答えが合っていない文章があった。



その他ご意見

- ◆ おしゃべりCafeは良いが、参加者が固定されていないか、時間や場所等考えて欲しい。
- ◆ モニターを始めてから精読するようになった。
- ◆ 意見箱以外に、HPPなどで町に対して意見を言えるようにしてほしい。



やまきた町議会 おしゃべり Cafe

いただいたご意見を参考に、一般質問や町行政に直接伝えるなどして改善に努めています。



6/20 山北駅前 Cafe NICO

- ◆ 役場、生涯学習センターに保健室が欲しい。災害時の避難者の対応にもあった方が良い。
- ◆ 生涯学習センターに食堂、喫茶店を作り、町民が集える場所にしてほしい。
- ◆ 老人福祉はやるが、シニア世代向きの政策がない。
- ◆ 子育て支援をもっとやるべき。(子どもが増えなければ労働人口は増えない。)
- ◆ 選挙は SNS をもっと使えばよい。
- ◆ 東名跨道橋が老朽化している。しっかり管理体制を決めておくべき。
- ◆ スマホの教育をやってほしい。(高齢者も使えるようになれば、LINE で自治会も活動が楽になる。)
- ◆ 空き家対策はしっかりやってほしい。

7/20 小田原百貨店

- ◆ 期日前投票と投票日の投票用紙が違うのはなぜか。(期日前=記名式、投票日=〇付方法)
- ◆ 投票用紙は鉛筆での記入である。不正ができるのでは。
- ◆ 循環バスの利用者が少ない。料金を100円にして利用者を増やすべきでは。



※当日の様子など記載したおしゃべりCafe通信はホームページでご覧いただけます。



おしゃべりCafeは 毎月20日開催!

町議会では、皆さまとの意見交換の機会を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。

- 日時：11月20日(日) 13:30~15:30
場所：小田原百貨店山北店
(イトインコーナー付近)
- 日時：12月20日(火) 13:30~15:30
場所：山北駅前 Cafe NICO広場
(芝生スペース付近)

各種団体、グループとの出張おしゃべりCafeも始めています。ご要望があれば、どこへでも伺います。ご希望の方は、議会事務局(☎75-3653)まで。

》 研修会レポート

開催日： 令和4年9月20日（火）
場 所： シェーンバツハ・サポー
主 催： 町村議会議長会

研修会の目的

議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況に鑑み、町村議会広報編集委員等を対象にした研修の場を設け、議会広報の発展に資することを目的とする。

- ①「そろそろ化けませんか！！」
～絶滅危惧から持続可能な議会広報へ～
議会広報ファシリテーター
熊本大学客員教授
越地 真一郎氏
- ②これからの議会広報を考える
～住民に“伝わる”情報発信と
広報紙作成のポイント～
東京都杉並区広報専門監 谷 浩明氏
- ③優秀議会広報クリニック
エディター 吉村 潔氏

伝えるから伝わる広報紙へ



全国から集まる広報研修会に参加

良い広報紙とは

- ①住民ニーズを把握し（広聴）住民の知りたい内容を記事にする。
そのためにアナログとデジタルが共存する時代になったことを十分に理解し、ICT活用を念頭に住民対話やツイッターなどで情報収集する必要がある。
- ②「伝える」広報紙から脱却し、住民が知りたいことが「伝わる」広報紙に変革していくことが望まれている。



編集会議のようす

「議会のおと」 にも変革が

7月臨時会で欠員状態であった

広報分科会に藤原、大野両議員が新たに選任され、分科会一同より一層町民の皆さんの「知りたい！」を発信するようがんばります。

活きいきひろば

試合に勝つ強さより

人としての強さを

山北柔道クラブ

会長 石田泰三さん



山北柔道クラブは創設50年を迎え、初段取得者（黒帯）は100名以上を超え最盛期には小学生だけで100名近く所属していた時期もありました。

昨今の少子化に加えコロナ禍もあり、会員の減少は中々止められませんが、卒業生を中心に全柔連公認指導者、公認審判員が指導者として安全第一に稽古を続けています。

定期的に近隣の道場との交流をし、稽古や試合をしています。現在の指導方針として、稽古を通じて試合に勝つ強さより人としての強さを学んでもらえるようにし、その中で中学卒業までに初段取得を目標としています。

柔道は一般的なスポーツとは違い、武道特有の昇段があり、頑張った成果、一定の基準を超えれば黒帯になるので、生涯スポーツとしても適しております。

道場のインスタグラムも開始しました。随時、年齢性別不問で新規会員を募集しています。



山北柔道クラブの
インスタグラムは
こちらから



編集後記

町長選挙・議員補欠選挙後、新たな体制で議会だより（211号）をお届けします。

季節は秋を迎え、町民の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、9月議会では、補正予算と決算に関わる議案について主に審議しました。決算状況は、基幹財源である町税が減収、そして税外収入の柱である「ふるさと納税」も減収傾向にあり、依然厳しい状況です。議会では諸問題に取り組む中、町民の声に更に耳を傾け、反映し、活動していくことが重要と考えています。

今後もしゃべりCafe等を通じ、皆様方の声に耳を傾け、活動に反映してまいります。多くの方のご意見をお待ちしております。

（藤原 浩）

議会の傍聴においでください

第4回定例会(予定)

12月6日(火)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ
議会事務局

75-3653

議会ホームページ
山北町ホームページ
→町議会のアイコンをクリック



広報分科会

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 清水 明 |
| 副会長 | 堀口 恵一 |
| 委員 | 藤原 浩 |
| | 和田 成功 |
| | 大野 徹也 |
| | 石田 照子 |